



劇中でたくさんさんのドラマを魅せてくれた夜須町手結。第二の舞台といってもいいほど撮影場所が多数！ぜひあちらこちらでくく散策してみてください。

劇中の設定では「香南市香海町新尾」となっています。なんだか不思議な感じですね。

印象に残ったロケ地は「手結」です。

《監督 三宅喜重さん》

県庁おもてなし課ロケ地ガイド
（高知県観光コンベンション協会発行より）

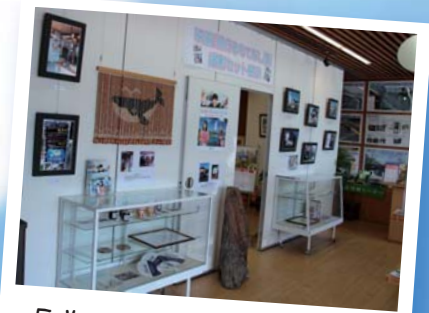
わたしたちのまちが映画に出ています！

高知県出身の人気作家、有川浩さんのベストセラー小説「県庁おもてなし課」が映画化され、今、全国で上映されています。

映画は有川さんからの高知県へのエールでもあるととれる高知の魅力がギュギュとつまった作品です。内容は…ぜひ映画や原作でお楽しみください。

さて、劇中でとても重要な位置づけとなるシーンのロケ地として、実は夜須町手結地区が使われています。この折に「手結散歩」などができそうですね！

ロケ地ガイドマップは「道の駅やす」・「香南市観光協会」などで配布しています。



「道の駅やす」にてロケで使われた小道具などを展示しています。（9月まで）展示品のなかにはお宝アイテムも！

映画「県庁おもてなし課」 ロケ地であること、おもてなしということ

いつでも見に来てください、そして手結の素晴らしい風情を楽しんでください。

《「民宿きよとお」ロケ地住宅家主 清遠さん》



劇中で「民宿きよとお」として使用された住宅。家主さんのご厚意で「民宿きよとお」の看板が残されています。これも「おもてなし」！

おもてなし？

私たちにとっては見慣れた場所でも、スクリーンを通したドラマに、全国の人たちがクスッと笑ったり、ホロリときたり…

インターネット上などでは「高知へ行きたくない！」「ロケ地はどこ？」などの言葉が連日飛び交っています。

私たちには見慣れた風景でも、スクリーンを通して観た人たちに与えている場所。そんな場所がわたしたちのまちにあるのです。

上映初日から手結を訪れてくれた人たちがたくさんいます。

もちろん香南市には他にも素敵なお店がたくさんあります。香南市を訪れてくれた人たちに「来てよかったね！」と思ってもらえるようなまちなしたいですね。まずは、「こんにちは」から始める小さな「おもてなし」を始めてみるのもいいんじゃないでしょうか。

■ロケ地を訪ねる際のお願い！■

- ①周辺道路に車を駐車しないでください。（この機会にヤ・シィパークからぜひ徒歩で海辺の散歩を！）
- ②現地周辺はふだんの生活の場ですので、騒いだりしないでください。また、ゴミは必ずお持ち帰りください。
- ③ロケに使用された住宅は実際お住まいになられている住宅ですので、勝手に入ったりしないでください。



「どろめ祭り」

4月28日（日）、赤岡町の海岸で開催された「第56回どろめ祭り」。今年も朝からどろめやお酒で大賑わい！恒例の漁船パレード、地民網やどろめ踊りなども行われました。会場の赤岡海岸は全国から詰めかけた約9,000人の来場者で埋めつくされ、一日中笑い声が絶えませんでした。

自然+あそぶ+おいしい=香南市！

香南の休日

今年も楽しいイベントがいっぱいの季節がやってきましたよ！



5月19日（日）、香我美町舞川で「大蛇藤ふれあい運動会」が開催されました。当日は残念ながら雨でしたが、150人を超える人々が集まり、子どもからお年寄りまで世代を越えた笑い声が山里に響いていました。

「大蛇藤ふれあい運動会」

大蛇藤ふれあい運動会は今回でひとまず休止となります。来年は「表年」にあたる大蛇藤の下で藤祭りを開催する予定とのことで、舞川地区にまた賑わいが戻ることでしょう。

「アカシアの花まつり」

5月3日（金・祝）～5日（日）、道の駅やすで毎年恒例の「アカシアの花まつり」が行われました。海辺でのライフや和太鼓演奏、木工細工や工作体験など、色づいたアカシアが揺れるなか、連日家族連れで賑わいました。

